

平成29年度 青森大学教員免許状更新講習 シラバス

講習の名称	いじめ・自殺予防教育の基礎と子どものネットリスク教育				
必修・選択区分	選択領域	講習時間数	12時間	受講予定人数	80人
対象職種	教諭・養護教諭	開設日	平成29年7月27日(木)～7月28日(金)		
主な受講対象者	小・中・高等学校教諭、養護教諭				
担当教員	船木昭夫(社会学部教授)、大谷良光(子どものネットリスク教育研究会代表・元弘前大学教授)、 澁谷泰秀(社会学部教授)、鈴木康弘(社会学部教授)				
講習内容	<p>1. いじめ・自殺予防 いじめ・自殺の本質や最近の状況、その背景に関する心理学・社会心理学的理解(集団心理、発達心理、ストレスとコミュニケーション等)をやさしく解説する。</p> <p>2. 子どものインターネット利用、特にLINE等のSNSが拡大する中で、「コミュニケーショントラブル」や「ネットいじめ」が深刻化し、またネット被害や安易な情報発信のために危険にさらされている。この現状とネット端末の変化を踏まえネットリスク教育の在り方についてグループトークを含めながら考える。</p> <p>3. 子どものネット・スマホによる長時間接触、低年齢化が急速に進み、脳の発達阻害、視聴神経等健康被害、ネット依存が進行している。脳科学研究の最新研究を踏まえ、この現状を理解し対策をグループトークを含めながら考える。</p> <p>4. いじめ・自殺予防教育の基礎「心理教育(ストレスコーピング、アンガーコントロール、SST等)」「こころの健康教育」「人間関係づくり」について解説するとともに、演習(グループワーク)を実施する。</p>				
到達目標	いじめ・自殺予防教育を効果的に実施するために、集団心理、発達心理、ストレスと感情コントロール等の基礎理論とネットリスクの現状とその教育を理解するとともに、学校・学級・個人の対応を演習(グループワーク、ロールプレイ等)することで自らのスキルアップを目指す。				
講習方法等	<p>【講義・演習】</p> <p>全体を4つの項目に分け、項目ごとに講義による解説および演習を実施する。講義は主にプロジェクターを使用して進め、必要に応じてプリントを配布する。演習は主にグループワークを実施し、ロールプレイ等を体験学習する。</p>				
時間割	<p>1日目(7月27日)</p> <p>9:00 ～ 9:20 受付</p> <p>9:20 ～ 9:30 オリエンテーション</p> <p>9:30 ～ 12:30 講義・演習 (心理学、社会心理学的理解)</p> <p>12:30 ～ 13:30 昼食・休憩</p> <p>13:30 ～ 16:30 講義・演習 (ネットリスク=ネット被害・ネットいじめの現状と対策)</p> <p>2日目(7月28日)</p> <p>9:00 ～ 9:20 受付</p> <p>9:20 ～ 9:30 オリエンテーション</p> <p>9:30 ～ 12:30 講義・演習 (ネットリスク=脳の発達阻害等の現状と対策)</p> <p>12:30 ～ 13:30 昼食・休憩</p> <p>13:30 ～ 16:00 講義・演習 (心の健康教育、人間関係づくり)</p> <p>16:00 ～ 16:30 試験</p> <p>16:30 ～ 16:45 評価書記入</p> <p>※適宜休憩を設けます。</p>				
修了認定の方法	筆記試験				
成績評価の方法・基準等	成績評価は、(講義・演習の)参加姿勢と筆記試験の成績で判断します。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。				
教材等	特に持参するものではありません。				
認定番号	平29-30026-506783号				
その他					